
普及台数

2020年（令和2年）版



目次



目次	
概況	1
自販機普及台数	2
機種別普及状況	3
年別普及台数	3

概 況

2020 年末の自販機及び自動サービス機の普及台数は、対前年比 97.5% の 404 万 5,800 台となりました。

普及台数は 2000 年に 560 万台を突破しましたが、その後は緩やかな後退に転じ、新型コロナウイルスの世界的な流行に見舞われた 2020 年は、当業界も経済悪化のあおりを多分に受ける結果となりました。

台数占拠率が最も高い飲料自販機は、全体の約 56% に相当する 228 万 4,600 台となり、前年より 3.8% の減少となりました。台数減の主な要因としては、こちらも新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、在宅勤務やテレワークの推進が図られ、外出自粛が徹底されたことにより、清涼飲料の売り上げが落ち込み、飲料メーカーや管理運営業者の機器投資意欲低下から不採算機の撤去が進んだことが挙げられます。

券類自販機についても、乗車券自販機がコロナ禍における鉄道会社の利用客減少に伴う大幅な減収により、更新需要が保留となり、旧式機の撤去が進み微減となりました。

一方、食券自販機については、飲食店において休業や時短営業等により深刻な打撃を受け成長率は鈍化したものの、顧客と従業員間の感染リスク軽減等を目的としたニーズの高まりから 2.6% の増加となりました。

また、時間や場所などを提供する自動サービス機では、大型病院をはじめ、クリニック等の医療関連市場で自動精算機の設置が加速し、ホテル等宿泊施設のフロント業務を担う人件費削減による需要増も相まって堅調に推移しました。

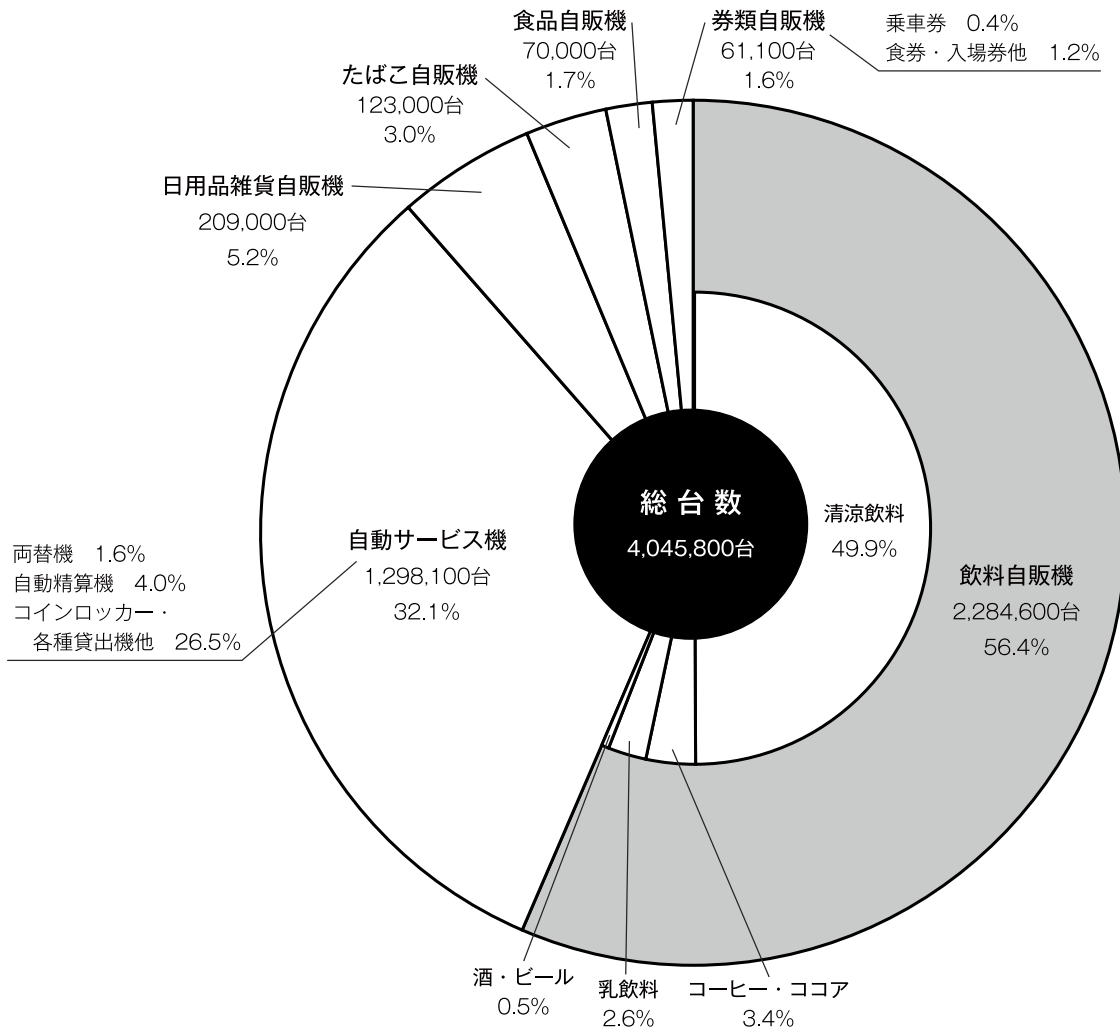
自販機普及台数

2020年12月末現在

機 種	中 身 商 品 例	普及台数 (台)	前年比 (%)
飲 料 自 動 販 売 機	清涼飲料 (缶ボトル)	2,020,000	96.2
	乳飲料 (紙パック)	106,000	95.0
	コーヒー・ココア (カップ)	137,000	96.9
	酒・ビール	21,600	96.4
飲 料 小 計		2,284,600	96.2
食 品 自 動 販 売 機	インスタント麺・冷凍食品・ アイスクリーム・菓子他	70,000	97.4
た ば こ 自 動 販 売 機	たばこ	123,000	93.9
券 類 自 動 販 売 機	乗車券	14,500	96.7
	食券・入場券他	46,600	102.6
券 類 小 計		61,100	101.2
日 用 品 雑 貨 自 動 販 売 機	カード、衛生用品、新聞、玩具他	209,000	99.5
自 動 販 売 機 合 計		2,747,700	96.5
自 動 サ ー ビ ス 機	両替機	64,400	96.4
	自動精算機 (駐車場・ホテル・病院他)	161,700	99.5
	その他 (コインロッカー・各種貸出機他)	1,072,000	100.1
自 動 サ ー ビ ス 機 小 計		1,298,100	99.8
合 計		4,045,800	97.5

機種別普及状況

2020年12月末現在



年別普及台数

年	普及台数 (台)	前年比 (%)
2009 (平成 21)	5,218,600	99.1
2010 (平成 22)	5,206,850	99.8
2011 (平成 23)	5,084,340	97.6
2012 (平成 24)	5,092,730	100.2
2013 (平成 25)	5,094,000	100.0
2014 (平成 26)	5,035,600	98.9
2015 (平成 27)	5,001,700	99.3
2016 (平成 28)	4,941,400	98.8
2017 (平成 29)	4,271,400	86.4
2018 (平成 30)	4,235,100	99.2
2019 (令和 1)	4,149,100	98.0
2020 (令和 2)	4,045,800	97.5

※ 2017年の台数減については「日用品雑貨自動販売機」の統計機種再考による。

普及台数

2021年4月発行



一般社団法人

日本自動販売システム機械工業会
Japan Vending System Manufacturers Association

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-7-15 市ヶ谷クロスプレイス3階

TEL. 03(5579)8131 FAX. 03(5579)8137